

事例 3 : 官民競争入札制度（市場化テスト）（倉敷市）について

官民競争入札制度（市場化テスト）

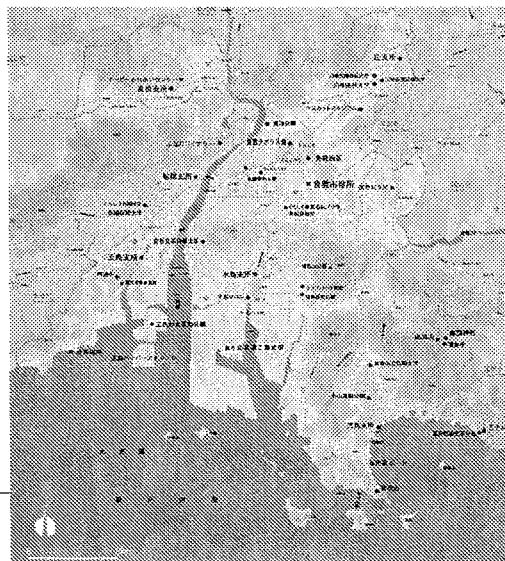
～『競争原理の導入』による、
『効果的・効率的な自治体』の実現～

倉敷市

日 時 平成20年11月6日（木）
14時00分～16時00分
会 場 財団法人地域総合整備財団 1階 会議室

倉敷市の基礎データ

| | | |
|------------------------|--------------------|--------|
| 人 口 (20年4月) | 478千人 | |
| 面 積 (20年4月) | 354km ² | |
| 一 般 会 計 (19年度決算) | 1,618億円 | |
| 健全化判断比率 (十九年度決算ベース) | 実質赤字比率 | 該当なし |
| | 連結実質赤字比率 | 該当なし |
| | 実質公債比率 | 13.5% |
| | 将来負担比率 | 106.7% |
| 職 員 数 (20年4月) | 3,625人 | |
| 人口÷職員数 (20年4月) | 132人 | |



1. なぜ、官民競争入札か

1. なぜ、官民競争入札か (1)倉敷市を取り巻く状況①

■ 厳しい財政状況

- 三位一体改革
- 税収減による大幅な財源不足
- 借入金の償還
- 生活保護費や医療費などの扶助的経費の増加

